



株式会社 ノヴァ電子

[モーションコントロール事業部]
〒151-0064 東京都渋谷区上原1-7-20 グランアキス 3F
TEL 03-5738-3666 FAX 03-5738-3665

[神戸営業所]
〒652-0004 兵庫県神戸市兵庫区楠谷町21-3
TEL 078-367-5931 FAX 078-367-5890

MC8080P の販売終息のご案内

いつもノヴァ電子モーションコントロールボード MC シリーズに格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、弊社ではお客様の RoHS 指令対応のご要求に対して、現在弊社製品の RoHS 指令準拠化を進めております。このような流れの中で、従来品 (RoHS 指令未対応品) の MC8080P は使用部品生産中止に伴い、RoHS 指令対応及び生産継続が困難となりました。誠に恐縮ではございますが、下記の日程にて販売を終了させて頂きたくお願い申し上げます。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い致します。

1. 生産中止機種

製品名	型式名
PCIバス対応 8軸モータコントロールボード	MC8080P

2. 販売中止時期

- ・ 受注締切日 2007年11月末日

3. 販売中止理由

- ・ 使用部品が供給元半導体メーカーの生産中止に伴い、RoHS 対応が不可能なため。

4. 修理対応

- ・ 修理対応期間 2012年11月末 (販売中止後、5年間)

5. 代替機種

販売中止機種	代替機種
MC8080P	MC8082P

※ 代替機種へ移行する場合、添付の技術資料及び取扱説明書をご覧になるか、または弊社技術部までお問い合わせください。

6. 評価サンプル

代替機種「MC8082P」の評価用貸出機をご用意してあります。ご必要な場合には、弊社営業または代理店までご相談ください。

—以上—

1. MC8080P と MC8082P とのハード的な違い

MC8082P ボードは、MC8080P ボードを RoHS 指令対応とする事を目的としており、動作機能や各コネクタの接続等に相違はありません。ただし、次の点が異なっておりますので、ボードの切り替えの際にはご注意ください。

■RoHS 指令対応

MC8080P の一部の部品は、RoHS 指令に対応していませんでしたが、MC8082P では全ての部品と基板、そして製造工程が RoHS 指令に対応しております。

■汎用出力インターフェイス IC

MC8080P の汎用出力インターフェイス IC には MSM82C55(沖電気製)を使用していますが、MC8082P では PIX132(当社製)を使用しています。また、汎用出力ポート A, B, C の I/O アドレスが異なっておりますので、MC8080P から MC8082P への切り替えの際は、「2.2.1 ポート A, B, C の汎用出力」をご参照ください。

■JP3, JP4 の設定方法

JP3 (原点出し信号を選択) と JP4 (STOP2 入力回路を選択) のジャンパー設定 (短絡位置の LOWER/UPPER) 方法が異なります。詳細については、MC8082P ハードウェア取扱説明書「7. 基板外形」をご参照ください。

■1 システムでの最大使用枚数 (ボード番号)

1 システム(PC)で使用可能な最大枚数は、MC8080P は 10 枚 (ボード番号 0~9) ですが、MC8082P は 16 枚 (ボード番号 0~F) です。

2. 既存アプリケーションの移植について

MC8080P で使用していた既存のアプリケーションは、一部を修正することで、MC8082P ボードを使用できるアプリケーションに変更することができます。この場合、デバイスドライバは、MC8000P デバイスドライバ(新規デバイスドライバ)を使用します。

MC8000P デバイスドライバの対応 OS、対応言語、対応ボードは、以下の通りです。

対応 OS	Windows98 Windows2000 WindowsXP (※WindowsMe及びWindowsNTはサポートしていません。)
対応言語	Microsoft Visual C++ 6.0 Microsoft Visual Basic 6.0 Microsoft Visual C++ .NET 2003 (Windows2000, WindowsXP) Microsoft Visual Basic .NET 2003 (Windows2000, WindowsXP)
対応ボード	MC8082P, MC8080P, MC8043P

Windows98, Windows2000, WindowsXP, Microsoft Visual C++, Microsoft Visual Basic は、米国マイクロソフト社の登録商標です。

2.1 変更方法の概要

以下の 2.1.1~2.1.3 項の説明に従い、アプリケーションを変更してください。また、アプリケーションを実行する前に、MC8082P ボードをパソコンに挿入し、MC8000P デバイスドライバをインストールしてください。

※詳細については、MC8000P デバイスドライバ取扱説明書「5. 既存 MC8080P アプリケーションの移植」を参照して下さい。

2.1.1 VC++による開発 (VC++6.0, VC++.NET2003)

MC8000P デバイスドライバでは MC8000P.lib ファイルを使用します。

MC8080P アプリケーションで使用している MC8080P.lib を今回提供の MC8000P.lib に差し替え、リビルドする事で、MC8082P ボードにアクセスできるアプリケーションに変更することができます。

また、MC8080P で使用していた API はそのまま使用する事ができます。API の仕様については、MC8000P デバイスドライバ取扱説明書「5.2.1 VC++」を参照して下さい。

2.1.2 VB6.0 による開発

MC8080P アプリケーションで使用している MC8080P_DLL. bas を今回提供の MC8080P_DLL. bas に差し替え、exe ファイルを作成する事で、MC8082P ボードにアクセスできるアプリケーションに変更することができます。

また、MC8080P で使用していた A P I はそのまま使用する事ができます。A P I の仕様については、MC8000P デバイスドライバ取扱説明書「5.2.2 V B 6 . 0」を参照して下さい。

2.1.3 VB.NET2003 による開発

MC8080P アプリケーションで使用している MC8080P_DLL. vb を今回提供の MC8080P_DLL. vb に差し替え、リビルドする事で、MC8082P ボードにアクセスできるアプリケーションに変更することができます。

また、MC8080P で使用していた A P I はそのまま使用する事ができます。A P I の仕様については、MC8000P デバイスドライバ取扱説明書「5.2.3 V B . N E T 2 0 0 3」を参照して下さい。

2.2 注意点

2.2.1 ポート A, B, C の汎用出力

ポート A, B, C の汎用出力については、MC8080P と MC8082P で I/O アドレスが異なりますが、OutpMC8080P 関数を使用してこの汎用出力を行っている場合は、MC8000P デバイスドライバが自動的にアドレスを変換していますので、アプリケーションを変更する必要はありません。

2.2.2 入力信号フィルタの初期設定

ボードのリミット信号などの各入力信号は、MCX304 内蔵の積分フィルタを使用します。MC8000P デバイスドライバでは、パソコン起動時とアプリケーションからのソフトリセット時に、各入力信号に対してフィルタの初期設定を行っています。設定内容については、MC8000P デバイスドライバ取扱説明書「3.5 プログラミング上の注意点」の「(1) 入力信号フィルタの初期設定 ■MCX304 搭載ボードの場合」を参照して下さい。

—以上—